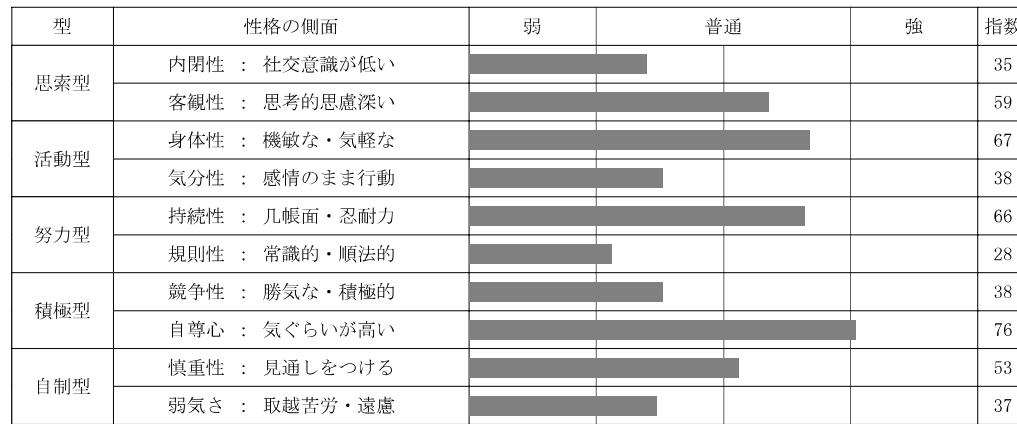


1 どういう性格・パーソナリティか



■この人の中心性格は「積極・自尊心」および「活動・身体性」であるが、「努力・持続性」や「思素・客觀性」といった側面も本人は意識している。

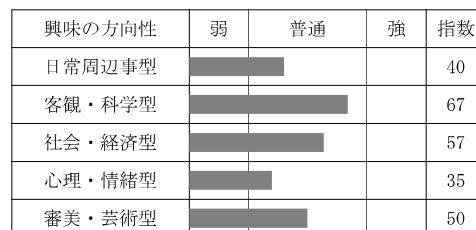
● 「積極・自尊心」及び「活動・身体性」の人のパーソナリティスケッチ

すぎたことはあまりせず、人に寛容で落ちていた雰囲気がある。むき出しの競争心はなく、皆と協調し仲よくやりたい気持ちが強い。しかし、本心は面倒な人間関係になるのを避けるための手段にすぎない。内面では皆から評価をうけ、称賛されたいと思っている。そのためか自分の自尊心が傷つかぬよう気をつけている。どちらかといえば、庶民的で気どらないざっくばらん人柄をもっているといえ、おだてに弱く少しでも褒められると、すぐその気になってしまう幼児的な部分がある。また、物事をややこしく考えたり、落ち着いて考えてから実行に移すというより、思い立つたらまずは行動してみることからはじまり、次の問題にぶつかったらその時にまた検討しようとする。世間の常識やしきたりなどによってしばられることなく、俊敏な行動力で物事にあたり、常に精力的に全力をつくそうとする。環境が変わってもあまり時間をかけずに適応し、たやすく慣れ親しむことができる。感情的なところもあるが、自分なりの生活リズムはもっている。

● もう一方の性格特性

規則や秩序を気にせず、自由奔放な行動をとる。常識的、固定的な発想ばかりでなく、柔軟な考え方ができる。ルールにしばられてコチコチなわけでもなく、気ままな生活ぶりである。ただ、社会秩序を気にしないことが何に関係するか見極めが必要かも知れない。

2 どういう関心事・興味領域を持っているか



俗世間的な事に興味がない。しきたりなどは気にしない。
物事を分析的に考える、又はそのまま事実のみ捕らえる。
社会情勢、世の中の出来事に関心があり、世事に明るい。
人の心理動向や情緒的な事に対して、あまり関心がない。

信頼係数



回答の信頼性は高く、矛盾したところがほとんどなく、信頼のできる診断結果である。

3 基礎的な職場場面での社会性



自らの意見や提案を出し、率先して実行に移そうとする。

仲間と一緒に考え、協力して目標に向かうことができる。

自分の発言や引き受けた事に対し、責任を持とうとする。

自分の意思や行動に自信があり、周囲からも信頼される。

皆から頼りにされ、意見や行動をまとめていこうとする。

多少の事で動搖したりせず、気持ちにムラが少なく安定。

強く命令されたりすると、その相手に対して反感をもつ。

今の生き方の方向性について、自信をもち安定している。

4 どういうことに意欲・ヤル気をだすか



困難な目標にも努力し、常に自分を向上させようとする。

自分が輸の中心となり、人を楽しませたり興奮させたい。

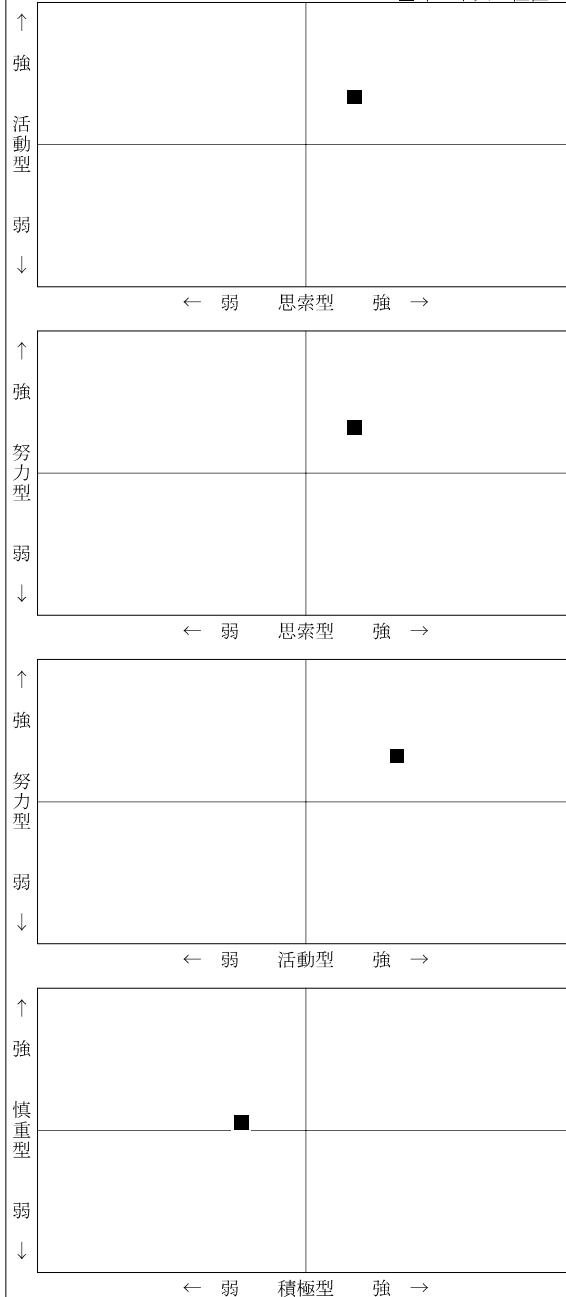
逆境に耐え、苦しいときも我慢づよくやり抜こうとする。

仕事への意欲があり、生きがいの部分として考えている。

■この人は「苦労を乗り越え、成長したい」系統の欲求群が一番強く、ついで「自分らしい生活を送りたい」系統の欲求群となっている。
逆に「対人関係が気になる」系統の欲求群には淡泊な反応である。

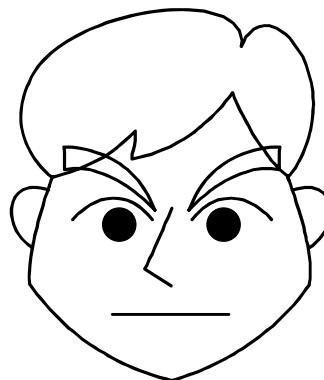
【本人の性格特性】

■印が本人の位置



【心理要素イメージ】

眉の太さ：指導性 眉の傾き：従順性
 瞳の直径：達成欲求 目の傾き：達成欲求+求知欲求
 鼻の高さ：顯示欲求 口の形状：親和欲求+協調性
 顔の輪郭：性格類型
 逆三角顔 = 思索型 丸顔 = 活動型
 エラ顔 = 積極型 角顔 = 努力型
 細長顔 = 自制型



【自己評価】

意欲・ヤル気	管理・対人能力	思考能力
積意根責 極欲氣任 実熱強感 行意さ	決指リ自調折 断導己整衝 勇力ダ信力 気力	独現洞企專情 創状察画門報 斬分力立知活 新析案識用
A A A A	A A A A B A	B B A A A A
A	A	A

【採用判定】

定着性・安定性 = 8

C U B I C の判定結果 = 「B」

【判定結果A】予測推定値（見所）

(1) 一般的職場状況での可能性	■	56
(2) 海外など精神力の必要な職務	■	北海 62
(3) 足腰のよさが武器になる職務	■	52
(4) 集中力、緻密さの必要な職務	■	58
(5) 標準化された仕事や工場労働	■	62

【判定結果B】当人の傾向

- 「内勤型職務」 「外勤型職務」
 「組織型人間」 「非組織人間」

【判定結果C】大まかな職業興味領域とその方向性

- (1) 「最適」企画、組織の運営、経営管理のような仕事
- (2) 「最適」研究的、探索的な仕事や活動の領域
- (3) 「適切」営業など対人的接觸をともなう仕事
- (4) 「適切」規則や慣習に従った行動、事務的な仕事
- (5) 「適切」物を対象とする、具体的で実際的な仕事
- (6) 「適度」音楽、創作、文芸など芸術的な仕事や活動

【判定結果D】配置適性 1

《適性の高い順》

- (1) 「最適」研究管理者
- (2) 「最適」基礎研究管理者
- (3) 「最適」基礎研究者
- (4) 「最適」営業管理者
- (5) 「最適」研究開発者
- (6) 「最適」営業専任者

《低い順》

- (1) 「小適」営業専任者
- (2) 「適切」秘書専任者
- (3) 「適切」人事専任者
- (4) 「適切」企画管理者
- (5) 「適切」広報専任者

【判定結果E】配置適性 2

- (1) 「最適」新規事業開発
- (2) 「最適」経営企画
- (3) 「最適」研究開発
- (4) 「最適」基礎研究
- (5) 「最適」調査分析
- (6) 「最適」商品企画・開発

- (1) 「努力」倉庫
- (2) 「小適」購買
- (3) 「小適」総務
- (4) 「小適」物流
- (5) 「小適」庶務